令和7年度　　授業改善推進プラン　　2 年　　社会　科

1 日常の学習状況・課題について

〈日常の学習状況〉
授業アンケートより：授業中、先生や他の生徒の発言をよく聞いていますか、という問いに98．7%の生徒が前向きな回答をしている。また、授業に集中して取り組んでいると回答した生徒も98．2%おり、授業にしっかり取り組んでいることがわかる。また、説明はわかりやすいですかという問いに95%の生徒がわかりやすい～まあわかりやすい、板書は見やすいですかという問いには97．6%の生徒がわかりやすい～まあわかりやすいと回答している。授業中、グループでの話し合いや発表など自分の言葉で自分の気持ちを伝えることのできる生徒も96．9%いる。
〈課題〉
宿題や提出物をきちんとやっていますか、という問いにあまり思わない、思わないと答えた生徒の割合が13．8%おり、全体の1割強の生徒が宿題や提出物をやっていない、提出していない。

2 改善の計画

（1）学習面
①引き続きわかりやすく丁寧な説明と、見やすい板書を書くことを意識する。
②わからないことがあったときにグループ活動で友達に聞いたり自分たちで解決したりできるように話し合いや調べ学習を積極的に取り入れる。
③授業がおもしろい、授業に取り組もうという気持ちになれるよう、興味を引く画像や話題などを提供し学習への取り組みがスムーズに行えるようにする。
④家庭学習が定着するよう定期的に課題を出し、家庭でも学習に取り組める習慣を身に付けさせる。

（1） 指導面
①50分の授業の見通しをもたせるために、これまでと同様黒板に「授業の流れ」を書く。
②毎授業必ず「授業のめあて」を提示する。
③授業の終わりには「授業のふり返りシート」を書かせ、学習内容について生徒自身が取り組み状況を確認できるようにする。
④授業プリントは UD フォントとし、見やすいわかりやすいワークシートを作成する。
⑤定期テストに向けて、どのような学習方法を取り入れるのか、何を学習すればいいのか、がわかるように具体的に提示する。

3 非認知能力を高めるための手だて

（1）4人組を効果的に取り入れ、課題を友達と取り組むことにより、助け合いによる理解の深まりと達成感、連帯感を得られるようにする。
（2）毎時間ニュース発表を行うことにより、自分の意見を自分の言葉で他の人に伝える機会を増やす。

4 プランの評価方法

（1）学期ごとに授業アンケートを実施し、変容を確認する。
（2）定期テスト終了時に実施する振り返りシートを活用し、学習状況を確認する。